

令和 6 年度

事業者番号	0044	事業所番号	004400
-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A … 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
A	

(2) 事業所及び事業内容

代表事業所名	拾六間井戸	前年度における事業所数	2
代表事業所所在地	市区町村	熊谷市	
	字・地番	拾六間613番地5	
当該事業所を含む事業所の名称 (※Bテナント等の場合のみ記入)			
産業分類名(中分類)	23 非鉄金属製造業		
分類番号(中分類)	23		
事業活動の概要	拾六間井戸(無人 自動稼働) 事業内容:熊谷地区事業所用の井戸水供給		

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計画期間	2	年度	~	6	年度	
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる排出量	198	t-CO ₂	基準となる原単位	t-CO ₂ /Mm ³
	令和元年度の排出量198t-CO ₂ を基準として、令和6年度までに20%削減。					
削減目標	その他ガス					

(2) 第4計画期間の削減目標

計画期間	7	年度	~	11	年度	
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる排出量		t-CO ₂	基準となる原単位	
削減目標	その他ガス					

事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	拾六間井戸	熊谷市拾六間613番地5
2	旧生産システム研究所	熊谷市三ヶ尻5200番地
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	71	76	75	72	

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算 (t-CO₂)

	基準	計 画 期 間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂	198	139	149	148	142	
前年度比 (%)		—	7.2	-0.7	-4.1	
基準となる排出量に対する削減率 (%)		29.8	24.7	25.3	28.3	
その他ガス	非エネルギー起源CO ₂					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		139	149	148	142	

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）CO₂換算 (t-CO₂/指標)

	基準	計 画 期 間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位		0.2279	0.2296	0.2594	0.2596	
前年度比 (%)		—	0.8	13.0	0.1	
基準となる原単位に対する削減率 (%)						
活動規模の指標単位						
揚水量	Mm ³	610.00	649.00	570.56	547.10	

(4) エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	アルミホイール事業撤退における、年度内での生産活動停止による。
令和3年度 (2021年度)	井戸水の揚水量が増えたことに伴い、揚水設備の消費電力も増加し、排出量が増加しました。
令和4年度 (2022年度)	2台あるポンプの内、電力使用量が多いポンプの稼働が増えたため、揚水量が減少したが、CO ₂ 排出量は変わらなかった。
令和5年度 (2023年度)	自動車用アルミ鋳物製品の撤退に伴う生産調整、2024年2月に生産活動停止により揚水量減少。
令和6年度 (2024年度)	

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区分 番号	区 分 名 称					
		大 区 分	中 区 分				
1	360700	ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	拾六間1号井戸・2号井戸の2台同時運転から交互運転に変更。	R1以前	R1以前	
2	360700	ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	拾六間井戸清掃の定期実施(毎年交互に1台づつ)。今後も継続。	R1以前	R1以前	
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

A事業所

（※希望者のみ記載）

自由記述欄

